脱の建物をとる。要するにお互

問題は限る開死に回るが、い

部が置かるべきであり、われら 石にかおりついてもこれをほ

言である。佛しこれは平面的

協力してこの脆弱面を飛動面に の部分に脆弱面があつてもいけ い。もし脆弱面あらば、

次型住である。併しこれを例々 探り上げて渇へて見よう。戦時

いまとなっては、何時までも

大東距風争に勝ら抜くために

また廿日の地方行政協議會長會禁 も同日中乃至廿日には任地に帰り

北陸の三弯長は廿一日中に鴫京 医のちも目を残った九ヶ長知事の 今野でおく、

地方行政の温期的制新に伴ふ各地地方行政の温期的制新に伴ふ各地

極および國民生活確保の上にと 一、海映輸送力の増弾に弱する羽を襲撃

等でありその国際なる祖代と所用

験することゝなった

戦時生活確立への途

權限委譲近く實施

決戰行政逞しく發進

域内事情を精査しまた必要ある場

してその創意をも取入れ選く

長、首相訪問 語]

卅三名の参きに消してゐる、

・ 一十八可司会部を少勝・整倍の歳と 動、署戸職業少縣・手塚等階長は ・ 子利紀に順開せしめたが儲くも衡 難に重複機機が過度として飛行場機 ・ 学科とに和な繁製でよりの作成 何れも昨年一月モルメン飛行場機

である。大池龍雄大尉も同大阪の

殊勳甲四十七名

青木中將に功二級

一千四百卅三名に恩命

75. 75.

提以下日南軍官首腦語に開鮮無礙駅任の正式挨拶をなすため小林藤書官、

一機能質滿洲或訪問

御禮言上と就任正式挨拶に

後六時廿分京城最少のぞみくで新京に向ったが、右に関し情報源では次の通

り競裂した【宮鷹=出記する小磯越塔=昨夕京城線にて】

發電所を御視察あらせ られたるに對し 御禮言上し 本年五月 瀟洲國皇帝陛下安東地方御巡狩の 情報課發表 (七月廿一日午後六時首分) 小磯朝鮮總督は、

際水豐

朝鮮總督就任の正式挨拶の爲

襲に皇帝陛下安東地方巡狩の 際水豐發 電所御視察

れたるに對し御禮言士

滿洲國弘報處發表 (世|日十八時世分) 小磯朝鮮總督は



議次午前一時五分 天皇陛下親臨 【東京電話】廿一日の個空院本會

一案件可

・ 類似機関官和: 小類便機関官 ・ 類似機関官和: 小類便機関官 ・ 類似機関官和: 小類便機関官 ・ の件 の二件を上職、鬼」選出官長より

سون ،

チリヤ

攻防戰

酣

獨落下傘部隊爭出動

通り可以、同十時五十三分政会 審査の結果を報告し金會

功三旭 一 朝鮮關係

功六旭六 少尉 青木 茂雄 平七

所における皮種側の果敢な影響や受け画日 る種側の果敢な影響や受け画日 る種側の果敢な影響や受け画日 であるにも何ら

般行賞

【ベルツン二十日同盟】の区の道

氏はシチリヤ島の競児につき廿日

有力集團を殲滅

週間も一定頭の食棚によって生活 ものて組織された新領・接收準備 【パンコツク甘一日同盟】 神經痛に

大型船舶廿

要な 要な で 変以来他 で 変以来他

/き廿1日左

A. ピタミン ABCD…L B. 仮白質・皺分 へモグロビン C. 肝隙 全ホルモン D. 神ዬ 全ホルモン

諸 既 成 知 分 の

物力増設 機器 領土編人近し

一本煙災の中型暖逐艦

一隻および

Ź

錠

エトンの汽船一隻を電腦したとい

カントン島を强襲

敵飛行場に巨彈の

海鷲長驅 敵後方基地を衝く

でしてゐる日本喧哗地を破滅する

製製売へ

價漿 00000

育口座東京一大一〇番・「帰口區銀市町二ノ十一部田區銀市町二ノ十

反編軸軍陣地を爆撃した旨計日盤とを

|番鳥のバニコロ鳥を攻撃し在泊中の敵巡洋艦一隻に 至近彈を與へ[00兆世]||日間8]|| 帝國海軍航空部隊は 七月十八日再度サンタクルー

コロ島を連打

飛行場に多大の損害を興へた

の良

【リスボンは一日同盟】 ロンドン | 大学 | マルタ島軍司令部は日髄素

能産士二月 ものであつ



## 回にわたる密藤によって種々協議 赤軍戦車百卅撃破赤軍戦車百卅撃破 機りたと甘

|歌の切録放||歌の前に夜は寒咳を映|| ー下紙の前線特徴 藁オスカー・ホー 米第5元ニュージョージャ店の敷|| 出した米国はムンタ方面日本守作|| 電ビよればイギニング・スタンダ る

職師の様相を次のやうに仰へてゐ

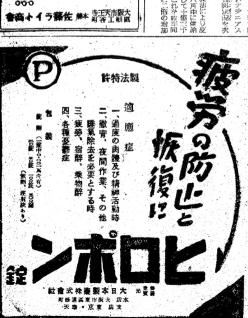
米軍、精神力に敗退。

るであらう。 論開説と心正しい。要は現骸の傷ることにあるといはれる。無

そのまく音楽することが困難で の背後に大東亜十億の民衆が存

の強さは魔々握り販でも生き

**書商 → イラ篠佐** 無本 専モ天市阪大





潤滑油瀘過器を完成

軍

陣

和學に凱歌

心苦の佐大谷杉

へが切壁に要認される決戦下日息

朝鮮向車輛

株式市況(新期)

投資も絕對決戰型で!

證田秋

時局電影響吐の生産力を我等の投車の必用に悪い國家が収収する 省で用を行分に説得させませる。

の助機は支那事績勃發の翌年昭 w附となって以来 版車 版画の 教育 戦車や工兵の各種単幅に故障部 野路して<br />
あた折徐県<br />
密散管時の

め中央で全陸川の油州館の南議を 年(簡時大尉)陸軍歩兵暴後戦車和十三年に遡る、大佐は昭和六

【東京電話】大東 即院等物送の数年 以前から威力増强 〇一師に違しよう と枚々研賞を積ん

財で文部省から集ある丁原卿士の恩位が授器完成と成功した一現役軍人に去る十五日

油の世用的研究』という決感下の取内および連の世用的研究』という決感では「変動物用観測を変数官整取大佐・彩合宗一氏型、映明等が影を数質を取ったという決略でしまった。

政會の窓口へ商工省係官翼

中小商業の調査

統制經濟の強化進展に伴ふ諸情勢とされんとする検弧にあるので京成

京商が企業整備に備ふ

町用的研究 の一書を刊行、額い 到する疾吸音の窓口へ勝工省から 問題を除上げた一版の繋が返日殺 出す――國民の変現を治局へ解へ「にあり、一方企蜜繁神も近く質局」る現在の動所などを的職式態に開いて断上通の観論曲地峡が風感に乗「激练な監験を命じなくされる虹側」にその態職維用地に減々と艦職す一下断と通の観論曲地峡が風感に乗「激练な監験を含むなくされる虹側」にその態職維用地に減々と艦職が一下である。

國家意識を滲透

子通り深刻奇烈となって來た。こ 分決限情勢に到庭するため政府は

昭南浮ドツク浮揚 感激の現地技術陣

回浜運航制を新たなる観點から

の統制は微分脳められるとしても

企業の内容そのものが國家的、

南方向琺瑯鐵器

学ドツクがわが<br />
海軍の手で<br />
見事 に自沈させた世界最大の四萬ト

材料で内鮮打合會

界最初の試験的建設工事として内一に於ても一部内地側委員から土壌

歸任後直ちに創立準備

食糧營團等に就て岸糧政課長語る

ガにしいことと思ふ、 管理令に 関的ねばならぬので聞任後も却

心が喚起され、更に朝鮮の食権心が喚起され、更に朝鮮の食権

土環場製造工事で、本邦土木技術。かれた日本堰堤技術委員會の新聞

キロに及ぶ世界的に無例のない大 の変地関連を継て、本籍東京で観察江水筋義州ダムは延長童に1一回に亘り爆展技術界最高階級高

世紀の義州ダ

本格的工事に着手

朝鮮食糧管理令折衝のため、顧會 廿四日京城箱の豫定で開任の途に 一後も引続きで京中であつたが

て内地か一つてわが網の配力増強にとり 中ら四軍的要派に逃いてゐる。 郷工際は、さきに一国したやうに 二、鑛産品の流通 比較的新らしく競強した朝鮮の

經濟の構造 製品の交換と内地資本の循環

のではない、肌ちこれを歴史的に

水めるところの耐人の耐量

ろの各類にわたつて説明しよう

して財政団を追過するに至ったのの流入形態が米聚補給金その他と

を見へるものではない、ただ的歌

本質を解明することが必要であれたづ第一に朝鮮の府内地貿易

の背景化をもたらし、同時に半周の背景化をもたらし、同時に半周の

我々が一口に関別といっても「関

ところで朝鮮動内地の貿易関係を

流通

の他の工業製品、低い機械での他

超級が朝鮮の經濟構造に與へるとを罪を説明した、問題は年々の入

の基本的型として現は北來つ

事態も、何等この基本的赤道事。 と、個看の社会から徐々に接着的に今日の食糧國家管理といふ とれが認識は、内地に於けるや

通に就て、生活物資の流

牛歯にはたい努力を求めたのみで

[中]

・ダン・ザコハーボシンの代かにの使用法の例

御敷に振り届せ場み帯けば来かく特有の味が添へられます。

小夏店 三 越。明治屋。丁子影響是 鐘淵朝鮮商事株式會

屋社社

スープ・メンチ、シチュー等のおだし其他料理に、牛・お濱硝や野巻、ウドンやソバに振り掛け郷節に優る味と

的強後用を合ひます。

通に就て四、建設資材の流

すなはち企業家は勢務率を使用

海運業者の企整方針

半島の鐵鍋資源

は廿日正式着任したが、廿一日次一〇…… 朝鮮戦闘には世日正式着任したが、廿一日次一〇…… 朝鮮戦闘 役割は愈々重大性

は毎日午後七時から九時まで

商工省異動(廿一日) ある」と思った。三所とはマン

(だこ・あられ) 三五〇八人 してありますから、大東県の磯民族に芝西男な俗用して韓刀の身地、健康の将久に祝動物佐田日町、趙助、アミノ朝、無縁成分を連集で消化されるプロの境中傾消に遠型競弾できます。 何开

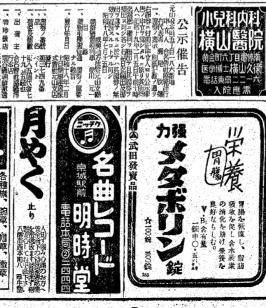
本府に録音室

四日(土)

調味栄養

達だしあられ 集制的农村生日英雄的城 社會大學原大對對複雜的理解。 ¥.55





のむれを長蛇に響へるが、釜山塩 の列ではなく隣馬のやうに秩序な 一元は、閉形する大東亜の助脈で らざむのすばらしい旅客の ハン屋や劇場の前にならず 海と堀と川 この郷を開けて取倒へられた着があた。それにつけても、歌郷に取るた。それにつけても、歌郷に取ると明に、か何に、これにない、一名事権を歌歌さると、その多歌を不添に導く可なると、その多歌を不添に導く可なると、 飯島滋 勘定の時 夾

【筆者は京城醫恩專門學校教授】 N. C. W. 可更 伊東 敬

が が が が を 飲ん

に機構をさげた若い女性も交の 心であった。 和中の一部で一部 ざうく

なって か 大映日 本

般用が六 時代脚五十三 

更度·實歷 \*\* 文洋社

けるな─坂西志保★アリューシャン戦域・農場アメリカ女に資★中支作戦の意義・未来

の手記・久保田耕一海院志願大學生

女子6科學教育·羽仁說子

研究·學者·國家·後藤正夫 

雜田

購戦争ら科學

てお訪る地基の

高級を組み、われに挑戦の出戦を敢てしてゐる、 独略な殿の軍御、 訓

**曖昧された敵機操権兵のうち、墨密から 職級に立つた操機兵が** 

大は値か」、三週四の軍隊が縁で建築

ソロモン電談の屋重の旅々たる戦果の際に拾はれる設備の一つ の決職を企脚、全職級はこゝに日毎懐愴奇烈な模相を呈して來

の調々が戦へられた、整國の際血に帯る縁症は一般のためらひもなく誤棄む。 壁垣 特別線 従見習 土富制度 が新に散けられ 暴徒に弱して大きく希望に輝く ヶ

明へるや法地の先輩誤解、若認定、親しみと氣寒さを優えさせる、際 がいて夢んだ、そして単 風が暗場一杯にこめる、悪法響い

パリとしてゐるのに腹を辿っての

助のプロペラが歌ってあるのだ。

は本府博物館佐瀬直衞 (職水園語) 水原高等

は大きな遊で怒鳴つた、精到不一致り一週間略に誤り金がを明査し

水、安慰、企業山を細て巨文型

勇士も兜脱ぐ、蚊軍

血の訓練へ轟音の朝あけ

殿立だたしかつた、五時三十分

を椎、白樫、タブ、ヤブニッケ 回の同じ士の捌沓でこの『ナタベき旨を辿らしてゐる、なほ今

血の調練への出職が極々こ

學能は配談に立つ若武者として<br />
一人といへども※位者を<br />
出すことはませい。<br />
學的問題を概念ことは許されない。<br />
學的問題を概念の当場をり、 許されない、殉國の烈々たる魏國を戦へに戦へられてゐるとき航空決議に開

製造

ある、魔よりも**第**――狼継する極米の意圖が鮮かに賢知出来る、われもまた極空線の不順とはいへ戦局はここに熾烈なる航空災戦に突入して來えことを物間って

部隊に行き日直士官の資服推尉に

京畿道 郷嬰、京城府郷 盟共催の この期間中に目から徴兵制の趣旨、京畿道 郷嬰、京城府郷 盟共催の この期間中に目から徴兵制の趣旨

鉄成期間は終々廿一日から開 に順躍な汗を流す今年の以季

全員場けて解成に過すことと 知されたが墨西院でも今夏は

幸区

の激闘が北遷の果、南東の最前級でいまも瞬時のたゆみなく縁返さ

〇〇にて村岡特派員發。徹崎を求めて火を吹く必激

れてゐる、わが陸、海、空至妙の作戦は豪地する欧米英の反攻を映

して類勢挽回の餘裕を聞じて許さぬが敗も辿みどろとなって必死

では八、九の曜日の買っていて、 神風を乗れての無無数成をお、七日のから「題の数点は触きなの心が終る」となった。 があ、 は新り家とは難し される、 同衆日悪年は同じく でき、 があ、 は新り家とは難し される、 同衆日悪年は同じく

をする、同第三墨年は廿一日 學習院の夏季錬成 こなふがこれには同學年御在 **場中の久邇宮邦昭王** 

高野科一、一屋年は廿二日の は廿一日から一週間奥日光龍 身練成の日課を過す、五學年

各宮様方も御參加 學年全員八十一名於富士登山

は廿一日から一週間院内に合 と修養講話を行び同第一駅年

日電旗が掲げられ各地の神社、神

級に闘魂を沸らせ『徴兵制政施感

皆兵の喜びのうちに迎へる後兵制 | 兼配給社では徴兵制関係の在庫映 決意宣揚の番組編成 変を納動員し「後兵制質施感謝決 役買人 平壌、釜山をはじめ全群主

銀幕心

學徒體育大會



陸軍中將は支那事種において畏く |天衆の間部に浴した故青木薫飯 | 國民県後四年生の長女叫子さんが| 「東京電話」今回の鶴野行賞で切。宅を辨以中の母巡いと刀自と駒馬 が解除長として大別山、 漢口攻

進兵廠技能者養成所に親しく記憶

仁川研究會

【海經】▲四百五十四京城府

大。田 工 科 學 院 ( 能樂年限 | ヶ年 )

アル

研べいだ

意味的(1994年)日本(1993年) 1994年 19

江原道製材生産出

高組

してその教育状況を質地に徹瞭、

し日の三軍叱咤の過べを偲ばせる

教育を刷新造兵工員の

東正説事勃炎後は南方方面整瀬水、長沙など各作説を指揮 の授表の日東京目黒區副場の自宅 では去る十七日ふじ夫人が次男祭

常ののち川子さんの頃を無でつく

胞命は和に有難き極

これを延続に運成所の数質順に概 防空警報ご交通機器 内務省でその措置を決定

共國版や會社などで經濟する汽車「借値すべきかについて内務省では(東京総語)的空間報節令中は公「低車、バスなどの変通機関がどう 地、一般に関係深い事所は次の回 日全國各地方類郊次官通牒を受し 過酸來維進その他與保官職と協議 血すべきかについて内務省では

八百三十六圓五十八錢 五百萬解頭に起って

頭痛 三十の名 (大利) 日本 (大利) 日本

八月二日中前八時ヨリ當所二於ア



野というでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 湖 部 豊 太一郎

職道(僖名 金相勝) 鎌簾で 病気療 隆道(僖名 金相勝) 鎌簾で 病気療

では、日子中十時北本川昌川寺に近て 田本日十日一日 一種州位中町111一番地 原州位中町111一番地

R 允 容龍

龍 承助海煥淑彩德鍊環輝燦烈星

開される。まさに世紀の感激と な器せられて一層に記念行事が 像大東亞全域からも真心の墜一時司令長官、中種隠代表より

**辞**、古市京城府聯盟貿長祝電披露

**范大臣、朝鮮至司令官、鄭海醬順** 

鉛色率液、無裁脳示、ついで降

學生々徒代表の 決
は宣揚 あつて

地行は酸人八月一日を期して歴史

他若人二萬が参り、國旗機器に開

**(學校、青訓生、在郷軍人、その** 

式、宮城遙舞、默彦のへち、

**高級宣歌記甚奉題、田中圖際裁**資

國田民最高の紫紫を至有し、睹一には、京城府内大學、東門、中等、一行ひ大會を終了、さらにつづいて 八月一日の行事決る 各板族を先頭にトラツクを一川分 行進の順路

大前の誓。み民われ

三全半島に、祝徴兵の祭典

高殿 ( ) 高校、 取門後、 東

不審の點確め

、男女子中等および師殿被像科

大型を開催する物定であったが

もいふべき重要なる自然器留屋の 打合計項のS

完優を明すべく景城地方法院では

統制經濟の図滅なる運行上からも

町會書記の戸籍、寄留屆打合

の印要性とその壁所の映験なる

Bでは七月下旬から八月中旬にか の本分を全うせしめることを則待 されてゐる

同徴笑をしい中に巨糖寄留の整備

ふ工員補いこ別し個々被討器隊し て蟹成所教育の前上刷新を図るた

ぜん息

神經痛

高血壓

11/2

臭ひを消す やユを取り

※ 画際スモカ

の放災遂行に全力を傾け一路総進 【三年 浦】一漁村から 決成産業 殖銀支店誘致

今津博

あるがその正確を呼し始給の適 ら続いなる概略があり歳之時で一人製は二頭を占むるとみられて のの期間に金子院採他主体咨問か

行上に於て別特に副ひ離い版ある 口十五萬を包擁する大都市計畫器

件もさぞかし感泣

恩命に青木中將母堂の感激

の労労を風にした方々も今回 じ光葉に浴されたと用いてた ただ感謝致すばかりで申上中 ただ感謝致すばかりで申上中

▼金里] ▲西国五十國京城中國 防 東

本社寄託献金

本類は内服により搾原菌を 直接完服す。故に化膿・疼 直接完服す。故に化膿・疼

国議員十四名選響の上

山下邑县、大野商工密

C上海津今の中究所記 る 今 一 中 東 る る

中中の地域を持ちている。

MZUL.

無期延期

で盛識、修養器話、作業に心

感謝の真心

一人横須賀へ

初の海の白衣勇士を慰問

麥供出に凱歌

戦ふ漆谷郡

り 致します』と 半版二十五百萬

【後年】一粒の級類でも残らず供

一日も 早く御快盛の 程をおい

團能藝島半

めの海軍病院慰問を行つた、この 近都横須賀に大阪辺を受けつつ (廿一日)協病兵融間の 同十時廿分大船着、ごへで一まつ 果真電話】縁能慰問「工場地標を重窓から眺め、戦ふ日」分れて病床を慰問、花束を贈う 應接室に來た院長代理大久保大佐 本の逞しい息吹きに目を振りつく

大な歴美の状立する領見、川崎の「に終れた淡海をうけてから二班に」をたたへて大久保大佐が解取って

官から色々ところの こと成士遊は徹々と語めかけ娱 態勢を取得してゐる漆谷郡では供く、九隅郡民難つて火の玉の如き 出し、議奏を帰るが確を見すべ 全数量の供出を完終しその赤城間にはやくも北三面漆谷二ケ面は

の原謝状と共に自米、難取の特別 をなし、その労苦を取めるところあった を被逐したる美型に、必激した郡

のが間続した形に追ばれてある

あるぞ/スクリユー材

巨文島なとで貴重な發見

初めて法文化させたもの 府令によりはつきりとされたわ 本令は七月廿一日よりこれ

島の造船築が盛んになればた

近く天然記念物に指定してま

・ ・ 七日午後五時福岡に於て 死去仕條 高端郷里に 於て相濟せ 候間此段御 高端郷里に 於て相濟せ 候間此段御 上候

介

所

言だった、軍陵のまく配願された

整備兵(建校院施) 第二年 一型機の始動にからる 切な案内に採用自動貨車で〇〇法のどこかに幾つてある採股兵の親 た、こ人に茲地の荒戯の表情の数 なした荒魔の咄夷をも数へてくれ|驚いたのは。こくは敷が 九州帰の訛が軍隊音楽 質に多いことだ、紋膜を眠らない ツシと蚊を挙で叩かねばならぬ、 殴りほとんど休みなしにパツシバ

細々として航空常職が興へられる

の基地で學んで下さい

腹が夢を赤く染める と往底してくれる、鮫の盲塚神經

殿に遭ひながら、難い力能の下で一るまで航空決駁への退しい決意を 館立と限りない。図像と書いを考え 熱血を傾けて一巻の

私のソバカス取が話

工業株式會社

め建議用機互通機の馬卓がニニー・ 増銀中であるが、後舎が総合のた

信いんな物を食べたらよいか、ど

部、穏力就盟部に本社後後の「城野生商資主体、網督所、観司会 応衆海食の普及徹底を聞るため 副

院業義食に関連しは廿一日から

四人等整倍の幽解に充分の理解を く翻猟するかの外間より

とに無がついたのは、それから三

「南の方で號く仕事が見つかつた

三號型(十行)

一大門風北剛鳴國民後では後舎

兒童の汗愛

始敗郡の各胞村で田桐の降仕を行

愛校の勤勞

億の台所

の潤絹輪番削を徹底すること

武道で鍛へる

爲の榮養繪卷

缺かさぬ赤誠

三職盟連絡打合會

農村に聖汗する

は自給自足出來京すがネ

街頭の紙見で道在く人 の足を止め酸める。

城南中學の、田植奉仕隊、

こしてあるのを 原発的を 城南中 の一月めまり版訓を頻響の近しか無機を手限的の手不足で随 でゃと全職長、帰電を助員

豫備將校團總會

廿四の深風は離れ座数

**職警十年の歴史を認る** ・東四軒町で一坪 の機関。起に呼順し、必勝の信念の種々協議・するとともに内地婦人 西のな明化、事 楽型感 に関して

現保財正芸他一般自衛に属して事総職起他に朝鮮本部、道以下支部 本部に各道支部主事を将発、婦人引強いて廿七日午前八時半から向

将陳日本の阪技を閉場する、第日

江人道衛下灣路で海洋樂成大衛

しに左の三ケ軽を決離、英戰段

海洋鍊成大會

船が取は大震の白層とされてある

二年大原廷季らやん(ここの)

屋上に富る

学、キャベツ、芥子、蕗

船に於ける敷削上陸、敞前湯既、敷

時半から同本部で城門委員會

元祿袖と筒型チ

誓ふ決戦生活三ケ條

一種の細常なる調在に成功した。この涂料な研究者は仁川昭和高女伊東駿一、青木延媛開歌第一女恩後歌歌の衛宝さる努力が総質し、半郎の山野で手つ取り早く採取出来る野生飯用濃物買

和高女伊東、青木二教諭の努力

百数十種の調査完了。銀年間の解析、代用館の歌歌が観測されるとき

探る半島山野の食用植物

すれば生食出來るし際説の涌

の検慮りを続り自然である。

見受ける領徴、状三角形をなし、三回羽訳に分裂・山野にざらに一翻鉄の毛豊で設定れる、成策な金

電を出して直立する、 宝だ 次開の の根から繋飛するが、 早機新しい ものは上部が巻出して全面白斑 松葉を食つて百年 的な樹木である、樹板に深い製り くぬぎ 八譚に再檢討

る、それを水車が米園日に投じ

細碎して外皮を去り、桶に入れ

早春筆の様とゆ土薬を出すが、こ すぎな

常日案内

本ニュ

償

償

演 奏

これを能く繋でて水に渡した落れが所謂ツクシで、 に斃囚してよい草である。一個食するが、春の摘茶とし たんほほりかられてぬ

海野十三(作)

女中選来談あれ京城郭山町一スケー選来談あれ京城郭山町一ノ

代田生命與支計

一號型(三行)

野

十三(作)

**太郎は押入を開いて、その整理に** 

**愛門、解熱、愛汗、便秘、極比劑** 白い汁は刺瘡に効めがある

を思へば、なんでもない。

江通一ノ二四三村上小太郎さんは

収果に必滅し、前線将兵の宮間に 大東正阪始まるや島市の赫々たる

日仁川月尾島で『海の科學講座』

兵六夢物

新本計理事務

日本生活を主

兵六夢物語 働く少年少女 日本ニユー

タイプ印書引受

東二世

が明書 古代

本二

無しくて、盛しくてたまらない。 川田加大郎の新生は今日から始ま るのだ。いやもうほど、始まって るのだ。彼はかとの関づこに構

特許商標

松宮特許事務

「州田さん、どつかへお出掛けに

新和紹介を 加太郎は、やくいひにくさうに

め出せ傳染病

圖る完璧の夏季衞生陣

は東大門署へ來で下さい

革カバンの忘れ物

の音頭で廿一日下 生体では一下工作

住友本社院擴業所 女子事務員募集 辰己礦油電影

15

F 鲜 决 週見必民國 二日封 切 を担心 大防護作品

頭痛

Į

3

一同時上演

. 8

舘記念大公演!! 待望!!第一劇場新裝開 館記念

d s 31生 朝鮮 世 定 遊 養 慶 代養 總 後藤新太郎 代養 總 後藤新太郎

夏州 吉 電影型 A 店 魔器 InCOM 商

今

朝鮮银行本店及朝鮮所在各支生品 土 港 萬 阳 也 日本窒素肥料※會社 を治すには 生ます 好い時期です

震響選 製公 在記者が一件

久

離萩

野

半島經濟の決戰體制

完

にしる、地下資源にしる、今はど 個部

強に多大の容更をしてゐるのみで

このやうにして、半節の食材質減、味で明似に於ける所関『陸道非常の期待がかけられるに至った。 て質難してゐるのである。その意

機関対再編成の狙ひの一つも置に

| 佐上瀬縣は十九日午後将僧を後へ「午後難く會販を修了、上蘇純は直「跛に騙職して「小冬無は敵憲左顧| つくりしてゐを他だが、畸胎する」られる、會談は童時間に買ったが「「ペルリン廿日同盟」剛里顧の台

然から競表されるまで概認にされ 前相との會見な廿日夕※瀬続大本

直に會談を開始『軍事的性質の諸

絶好の回答 神經作戦へ

【ベルソン廿日同盟】郷館當局は

諾威上陸企圖の敵潰走
帰題常

に無筋大本然に顕著したと明へられる

會談數時間に三る

にして見たい。先づ模様面につい

出と、消極面と に分けて 明か

般力の急速増弱の主役を演ずる

らるくかと言へば、それは直

失院々力の急速増弱への客則と

いふのは、決職々力の増弱の主役

四 しく節約され、これを繁要な作成をとり、また假令判訟によるとしても。

朝鮮だといることである。急速増

力増强に直接寄與

物資交流は相當の試験を駆けてを

第五に大陸との関係においても 大陸との物資交流

第三にこれと同様の理由から溯 朝鮮鐡道の重要性

が著しく制約を餘儀なくされてゐ

は、朝鮮の經濟が内地と比較する

勞力資源未だ潜在

めには、この経問的條件が一〇〇

観點から常面の朝鮮經濟を積 農工併進の朝鮮

ヒ總統ム首相會見

軍事的性質の諸問題を協議

樞軸軍大反撃を加

育相と會見し 『軍事的性質の諸問題』につき 【ベルリン廿日同盟】 極続大本祭は 廿日夜左の公報 を發奨した協議を登げた

取引所設立委員會第一回委員會は

日午後一時半より無格府第一

投機取引を排除器

第一回朝證取設立委員會

## リデーテツドB二四約廿、艦爆約四十、戰 ・北東東十ギャのエレベンタに來襲せるコン ソロモン群島 方面の帝國 海軍

間機九十合計百五十機以上の有力なる敵機群 啄、B二四爆撃機十二機に損傷を與へ海熱のレンデャ艦爆機、グラマン戦闘機各一機を撃 今中戦に呼應して大戦果をあげた、なほ同日の

|藤は郷田 農林局長統裁の下に||測示要旨左の河り

概其の他の増配計乗適行上総約四、 給状況が脱離せらるるの已かなされてあり食。 門に真り和なの総裁を受け年女供

【ベルリン廿日同盟】薔薇大本徳



ロート中田国国」母属司令部立

經濟の最有力な一環として決限を

には大橋の歌 NISSEN) 化膿性症患 根本治療に 疾毒瘍炎炎並 1= 町出日春區花此市茲大 社會式株造製料染本日 元資發造製

目丁二町慶順區南市阪大 社 會 式 株 業 産 畑 稻 元寅阪手一









■食物から薬養を 充分に採るにはよ ・ それ ることが大切です 烧 ンセ七十五・ンセ三十二

カ

合理的配給を檢討

肥料系統制打合會開 局長剛示、指示、職取を行び、午

捕虜四萬五千

イツ国が東部戦緩中部沿よび

ミウス河で激戦

獨ソ兩軍一進一退

敵の反撃粉碎

「ベルリン廿日同盟」 東部敷線中部 がびい 南部地域の線像における示域の域像は多大な像により、まる 五日兄衆九日孝でに順恵五千を懸 しんしょしょ まる かんしまさに 順恵五千を懸 は廿日更と郷軍が一日で五百

路至



初の汽船献納 電話」『一隻でもおくの

**種の小型冷耐こえ造も省用であり。一般成會を変態が成績を収めたが、「民の指導下と各地區間に實施」の東の東の民に出たもので現在この「定者を集め去る三月海季期態夢徒」語、作法質問等の練成種目を** 

在住半島出身感徒の内本年卒熟像「東京電話」朝鮮姫處會では豊都

んの贈も今頭は一瞬高い、ラ 『金融の皆さん、お早まござ 华島出身學徒

斷乎生活切換

五日から全鮮に徹底運動

託を受け遊成に當る

決戦だ、夏休み返上

九月三十日正式に磨紅沓へ脱網の 入れた

戦力增强へ學園の陣を覗く

做台灣號二名、名古屋飛戰17

女醫專生小鹿島

際に全國學徒の大空への憧れいよ 早徒代表が事行日本総断飛行

總地・ち・朝・の

先寒でピンと張切って一、二 間「第十四全部ラジオ酸操の三、四……廿一日から一ケ月 意」が健民健長の土気も高ら

かに一種に発行される、港に 建築である、午前五時五十分

等機機 | 一天の東京の

にして盛りあがる二千 | 日本文學報國會主催、情報局、

文士一行の視察報告會

**公学島を語る** 

聖汗の献金本町郷容師

下に、黙々

| 來た三人を呼んで | 尺程の

訓練生は一々手をとる様にし

職選だ、演習日程を入ると

郷出身故鹽筆上等兵池田森枝、郊がした総山府土城町三丁目十五

多の輝かしい武励をたて途に配

石田常平氏 野橋

**職職場のため逝去した、空生** 

『荒い操縦をやつちやあい 4. 元人機を手にして管壁の

かけてゐたが彼等が**魔**つて來 かけてゐたが彼等が魔って來

正する助戦の心を知ってか知ると無い戦をして遠離なく叱

として入校する生徒達がから 込まれ日夜所数を積んで闘魂

= 同小大◆同日同屆同日◆帝昭北新原 タ 有同員 ・ 新興衛士新豐新化新金樂新新油鋼等 





が、彼の前

懸岱、思忠

これは潤



取を追びち

必定、敵は て回らんと



サニ日ョザハ日マ 三回入替ナシ 塾 夜 連 續

けふの市況(計)

尊者鍊成會 海洋訓練指

式株

實物活潑

取らせ、戦中の工匠を呼ん

でうた。狭にいった。狭路

五〇錢均一

気のがさ

種 作 【200】 作



後三國志

をゆすぶる 野性に貴方の胸 い純愛に奔放の い純愛に奔放の 情熱互篇

日切 <u>二廿</u> | 封

で、夜目で

將北王平隊

東一つい 200 外まで行

級、市